

## 普及現地情報



発信年月日：令和3年（2021年）9月1日  
所属名：甲賀農産普及課  
番号：C21014  
部門分類：130（工芸作物・特用作物）  
発信者名：近藤（知）、竹若

## クワシロカイガラムシ防除と土壌診断の研修会を開催

当課は、JA こうかと連携し、8月2日に土山地区、8月5日に信楽地区でそれぞれ茶生産者を対象とした標記研修会を開催しました。

「クワシロカイガラムシ」は、茶の枝や幹に寄生して樹液を吸汁し、茶樹の樹勢低下や新芽の生育抑制など重大な被害を及ぼす害虫です。幼虫のふ化時期を除いては殻に覆われ薬剤がかかりにくいいため、幼虫のふ化最盛期に合わせて防除することが重要です。本研修会では、生産者が持ち寄った寄生枝のふ化状況を調査することで、ふ化最盛期を茶園別に把握してもらい、適期を逃さず防除できるよう指導しました。

また、土壌診断では、茶園土壌の pH が 3.5 を下回ると保肥力が低下し減収傾向となることから、pH の低下が見られた茶園の生産者に対しては、土壌改良資材の施用による酸度矯正を指導しました。

永年性作物である茶にとっては、樹勢低下を招く「クワシロカイガラムシ」の防除や好適な土壌条件の維持は極めて重要です。今後も当課では、茶の安定生産に向け、技術的な研修会を定期的実施する予定です。



研修会の様子（信楽地区）



茶園別の防除適期を説明